

第六期（2017年度）事業報告書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

法人の名称 特定非営利活動法人 アーモンド コミュニティ ネットワーク

1 事業の成果

多様な個性・文化・価値観を持つ人々で構成されたコミュニティの中で、(1)人と人とを隔てる様々な問題に対して働きかけ、隔ての中垣を越えて ところを支え合い、健やかに共に生きるために (2)「相手の話しをより良く聴くこと」「傾聴活動」を土台とした支援事業を行い、市民が孤立することのない (3) 共生の社会と平和なコミュニティの実現に寄与することを目的に活動を展開した。（定款より）

7月に「アーモンドホープセンター」を、法人第2番目の拠点として、こども食堂や生活支援に使えるコミュニティカフェの内装で施工し、エキニワ北山田ビル地上2階に開所した。

夏休みには幼児から小・中・高・大学生と保護者と地域住民が「アーモンドこども食堂」で食と交流と学習の活動に参加し、カフェ仕様の新拠点での活動の幅が広がった。

組織連携とボランティアの参加で、「生きづらさ」の先にある「孤立化とひきこもり」を防ぐため、人と人の関わりに安心してつながれる「居場所」をつくり、相手を中心とした「対話＝ダイアログ」を「傾聴」で生み出し、人と人が支え合うコミュニティづくりとネットワークづくりを推進した。

また、年間を通じて「地域での子どもの居場所づくり活動」に関心のある団体からの問い合わせがあり、「地域づくり」「コミュニティ活性化」「こども食堂」をテーマに見学・相談や、「対話ダイアログと関係性づくり」の講演会活動が増えた。30年度法人は「横浜市市民活動支援センター」から「中間支援組織による相談会」コンサルタント担当の依頼を受けた。

<新たな展開を達成した事業>

1 「アーモンドホープセンター」と「アーモンドこども食堂」

法人のミッションである「行政の福祉制度の狭間にあって支援が届かないこどもと親」への自主事業の活動資金を得て、アーモンドの花が意味する「希望」へ向かう居場所「アーモンドホープセンター」を開所した。居場所・食の活動・学習支援・アート活動・カウンセリング活動等の推進が可能となった。（活動資金は、クレディ・スイス証券(株)から「青少年育成助成金 Credit Suisse Asia Pacific Philanthropy Grant 2017」を2017年1月に受けた。）

こども食堂には配食ボランティア、民生委員・児童委員、地域の農家、都筑区社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、横浜労働者福祉協議会、都筑区役所、大学生、カウンセラー、地域住民の有志が集まった。また、29年度も都筑区地域福祉保健計画に基づいた課題解決事業への「つづき あい基金」の継続助成を受けた。食を通じた交流は「居場所」での子ども同士の繋がりや支援者との関わりが深まり、「関係性」にも良い影響を与えた。

2 「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」

昨年度に引き続き、横浜市地域文化サポート事業「ヨコハマアートサイト2017」の「地域課

題の解決につなげる文化芸術活動」採択事業に選ばれた。「小中学生の不登校や、高大生の中退、ひきこもり、ニートといった生きづらさを抱える青少年と家族へのサポート」で、イタリア在住アーティストの会員と、凸凹な個性の子ども達の自己肯定感を高めるアート活動を展開。

会員の尽力で、イタリアで最初のアニメーション学科を創設した美術専門学校‘Scuola Del Libro’の学生27名と教授との連携が実現し、「横浜北部の民話」をテーマにイラスト、アニメーション原画を9月から北山田アーモンドホールで展示し、横浜とイタリアの青年がアニメーションの制作を行なった。法人が28年度に「日・英バイリンガルの小冊子(DVD付き)」を製作したことで、法人の活動がイタリアのアートセラピー協会等でも紹介された。また、新たに「影絵劇」「民話の読み聞かせ」「民話の紙芝居」が加わり、読み聞かせの専門アーティストと音楽家の参画もあり、アートワークショップに加えて活動はさらに幅広く発展した。

3 「横浜に聴く歴史プロジェクト」

「多文化共生社会の実現と横浜の歴史・文化・市民をテーマとするプロジェクト」として24年度から活動を開始。今年度は副理事長（近現代日本歴史教授、米国人）の講演会「民話がつなぐコミュニティ 横浜北部の民話に聴く～民と族の間に挟まれて～」が、ヨコハマアートサイトから「アトラウンジ事業」に採択された。また、新たな拠点で「英語カフェ」事業を会員と開始し、英語での「傾聴と対話の場」に高大生と地域住民が多数参加している。

特定非営利活動に係る事業

・事業開催日数と受益者数の表はP.5に記載。

(1) 子育て支援の推進等に関する事業

「アーモンドこども食堂」（上記）

(2) 青少年の健やかな成長の推進等に関する事業

ア 「寄り添い型青少年支援‘ともにあ・る・く’フリースペース事業」

傾聴によるこころの支援、居場所支援、学習支援、相談支援、就労支援等。

15歳～18歳のジュニアメンバーと39歳までのシニアメンバーが、安心できる環境と人間関係で自分のペースを取り戻し「希望」を見つけ、将来へのスタートを支えるために実施。

イ 横浜市「都筑区寄り添い型学習支援事業‘いっしょにあ・る・く’」

「傾聴の場」での「学習支援」と関わりは子どもたちの自己肯定感を高め、いつも開かれていて、安心できる居場所に所属し、ともに生きる仲間と出逢うことで、おおらかに笑うことが増え、どの子どもも将来に向けて意欲的で積極的になった。29年度も、不登校生を含む中三生9名全員が希望する高校への進学を果たした。

「寄り添い型学習支援事業」では、中三生が高校に入学してからの継続サポートが非常に重要である。29年度は単年度のみ事業として「都筑区高校中退防止支援事業」があり、中三生は卒業後も継続して通うことができ、登録者数9名参加延べ人数288名のサポートができた。30年度も引き続き高校生への継続支援が必要であるが、30年度の公費の委託事業はない。

したがって、これまでの法人自主事業「ともにあ・る・く」の拡充が喫緊の課題となった。また、子どもだけでなく、脆弱な世帯の親への伴走型の支援も必要である。民間でこそ実現で

きる地域での伴走型サポート事業を継続するためには今後も安定した資金確保が課題である。

イの事業内容：都筑区役所こども家庭支援課、生活支援課との協働事業。北山田の法人拠点で、生活困窮者自立支援法の趣旨に基づき、複合的課題を抱える世帯の小・中学生を対象に、傾聴によるこころの支援、学習支援、居場所支援、相談支援、生活支援等を実施した。学習面の支援に加えて、脆弱な養育環境に配慮し、子どものこころを支えるために、居場所で受容的な人間関係を築くことを目指した。学齢に関わらず基礎からの学習支援と、いつも笑いのある明るい居場所の環境を作った。

*複合的課題を抱えた世帯とは…不登校、生活保護、外国籍家庭、ひとり親（多くが母子家庭）、親のメンタルや身体の疾病、親の引きこもり、家族や兄弟姉妹の障がい等の問題が、複合的に重なっている世帯。都筑区の状況は生活保護世帯に母子世帯と障がい者世帯が多い。

ウ 「思春期問題、不登校問題からの道しるべ～MY Café」事業

子どもの不登校の問題を抱える親のために安心して話せる居場所を通年で開催した。ACN 傾聴ワーカー’は、内閣府、横浜市青年相談センター、横浜市ユースプラザ、神奈川県立青少年センターの「青少年問題」研修に参加し、青少年の抱える心の問題と社会問題の理解を深めた。

エ 「生きづらさを抱えた子ども・青少年と家族のための寄り添い型相談事業」

神奈川県フリースペース等事業費補助金事業として相談事業を行っている。29年度は、20代から30代の青年へのカウンセリングをさらに充実させた。就労や人間関係での悩みを取り上げ、相談者を対象に「コミュニケーション講座」を開催した。

電話とメールでの初回相談から面接相談につなぎ、生きづらさを抱えた子ども・青少年と家族を支えた。電話、メール、面談、訪問・同行により、助言、他機関の紹介、情報提供等を行ない、発達障がい、ひきこもり、不登校、非行、精神保健、就労関係、学校関係、対人関係、家庭問題、児童福祉、健康問題、生活問題等を扱った。生活保護世帯、非課税世帯の青少年と親に対しては、法人として相談料の減免制度（無料）を設けた。

(3) 多文化共生の推進等に関する事業

ア 「横浜に聴くプロジェクト」（上記）

イ 「TCKs Green House」

日本のグローバル化による地域住民の抱える課題を、傾聴によるこころの支援、居場所支援、相談支援で支え、外国につながる家族の集まりを当事者の会員がリーダーとなり毎月開いた。

「第3回米国カウンセラー養成事業と多文化カウンセリング」セミナーを、米国認定カウンセラーの会員が来日して開催し、多文化カウンセリングのテーマで傾聴の学びを深めた。

(4) 障がい者支援の推進等に関する事業

「障がいと傾聴」セミナーを、多様性、個性、障がいを支え育てる目的で、障がい当事者と心理カウンセラーの会員と企画し開催した。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての「こころのバリアフリー」をテーマに傾聴の学びを深めた。

(5) 高齢者支援の推進等に関する事業

「傾聴コミュニティカフェ活動」は、‘ACN 傾聴ワーカー’が担い手となり、地域に開いている「傾聴の場」を子育て中の親、外国に繋がる住民、不登校生、ひきこもりがちな青年男女、

こころが疲れている人が、自分のペースで参加できる居場所として運営した。

(6) コミュニティ活動の推進等に関する事業

「アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト」事業 (上記)

(7) 上記の事業に関連する教育・学習・研修・啓発・相談に関する事業

29年度も「福祉職員研修」「小中学校 PTA 主催セミナー」「民生委員・児童委員全体研修」「子どもの居場所の支援者研修」等、「傾聴」研修の依頼が増えた。(P.5以降の表を参照)

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な諸事業

- ・神奈川県、横浜市共催事業「広がれ、子ども食堂の輪!!」セミナーで、理事長がパネリストとして法人の活動紹介とパネルディスカッションに登壇した。
- ・都筑多文化・青少年交流プラザ、都筑区役所主催「グローバル人材と人間力～通訳ボランティアを目指して～」セミナーで、「日本文化をどのように外国人に伝える」を副理事長が講演した。

<平成 29 年度の受託事業・助成金・補助金・後援・寄附金の実績>

- | | |
|---|---|
| ・「都筑区寄り添い型学習支援事業
いっしょにあ・る・く」 9,480,240 円
(都筑区役所より受託事業) | ・「アーモンド・凸凹コミュニティアート・
プロジェクト」 240,000 円
横浜市地域文化サポート事業「ヨコハ
マアートサイト 2017」助成 |
| ・「都筑区寄り添い型学習支援事業-高校中
退防止支援事業」 648,000 円
(都筑区役所より受託事業) | ・「クレディ・スイス証券(株)助成金」
11,075,750 円
法人の 18 歳までのこども青少年に係る
育成と教育とサポート事業全般に対す
る助成金 |
| ・「生きづらさを抱えた子ども・青少年と
家族のための寄り添い型相談事業～
神奈川県フリースペース等事業費補助金」
760,000 円 | ・ 寄附個人 …… 延人数 270 名
個人からの寄付総額 1,815,980 円 |
| ・「アーモンドこども食堂」
「都筑区社会福祉協議会つづきあい基金」
50,000 円
「横浜労働者福祉協議会より食材費と
備品費の助成」 70,000 円 | ・ 寄附団体 …… (株)コタニ興業、
(株)フルヤ総業、横浜労働者福祉協議会 |
| ・「アーモンド寄り添い型青少年支援
ともにあ・る・く」
都筑区社会福祉協議会ふれあい助成金
230,000 円
(地域福祉保健計画推進事業として) | <法人会員数>
正会員 27 名
賛助個人会員 75 名、賛助団体会員 3 団体

<所属・参画団体>
「全国子どもの貧困・教育支援団体協議会」
「横浜子ども支援協議会」 |

平成 29 (2017) 年度 法人事業開催日数と受益者数

	事業名	事業内容	開催日数	受益者延べ人数
1	子育て支援の推進等に関する事業	アーモンドこども食堂(土)、希望食堂(平日)	43日	308名
2	青少年の健やかな成長の推進等に関する事業	青少年支援 ともにあ・る・く	44日	246名
		寄り添い型学習支援事業 (都筑区役所受託事業)	254日	1197名
		高校生中退防止支援事業 (都筑区役所受託事業)	254日	288名
		不登校支援 MY カフェ	20日	30名
		寄り添い型相談事業(神奈川県フリースペース等補助金事業)	193日	294名
3	多文化共生の推進等に関する事業	英語カフェ	11日	101名
		TCKs Green House	11日	76名
		「米国のカウンセラー養成事情と多文化カウンセリング」(共催事業)	1日	30名
4	障がい者支援の推進等に関する事業	「障がいと傾聴セミナー」(共催事業)	1日	29名
5	コミュニティ活動の推進等に関する事業	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	70日	383名
		傾聴コミュニティカフェ	97日	20名
6	上記の事業に関連する教育・学習・研修・啓発・相談に関する事業	「傾聴」「青少年育成」「支援者養成」研修・講演	27日	約700名

受益者数合計 約3702名

平成 29 年度の法人の活動状況・研修事業・連携事業等

	北山田「アーモンドホープセンター」「あ・る・く」 拠点で開催した事業	外部会場での法人事業と 連携団体での勉強会	連携組織と連携活動	理事長・理事の動き
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区役所受託事業「都筑区寄り添い型学習支援事業 ‘いっしょにあ・る・く」 ・ACN 本来事業「青少年支援 ‘ともにあ・る・く」 ・神奈川県フリースペース等補助金「相談事業」 個人カウンセリング／面談・メール・電話相談 ・アーモンドこども食堂 ・多文化共生支援「TCKs Green House」 ・英語カフェ ・アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト ・傾聴コミュニティカフェ ・不登校支援「MY カフェ」 ・「希望食堂」平日夕方週1回、小中高生法人事業の利用者を対象に軽食を提供した。(7月～3月) 	<p>【会場】 つづき MY プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 Baskets Full ～思春期のこころを聴く～(月1回) <p>【会場】 かけはし都筑 (都筑区社会福祉協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜に聴くプロジェクト勉強会(不定期) ・ボランティア傾聴研修(不定期) ・多文化カウンセリングセミナー(年1回) ・障がいと傾聴セミナー(年1回) ・アーモンドの会～こころを聴くカウンセリング勉強会(月1回) ・傾聴の広場 勉強会(月1回) <p>【会場】 横浜市歴史博物館、 緑区「なごみ邸」、青葉区「赤い家」他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト ・横浜に聴くプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・都筑区役所、港北区役所、青葉区役所、磯子区役所、他 ・都筑区社会福祉協議会 ・横浜市社会福祉協議会 ・つづき MY プラザ ・横浜市青少年相談センター ・横浜市 ・神奈川県青少年センター ・内閣府 ・NPO 法人 eboard ・緑区地域子育て支援拠点 ・山田地区社会福祉協議会 ・横浜労働者福祉協議会 ・ヨコハマアートサイト ・都筑ワイズメン&ウィメンズクラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会」委員 ・障がい者「後見的支援室」職員傾聴研修 ・精神保健福祉サロン「You & Me」スタッフ傾聴研修 ・特に明記ない場合は講演と研修担当は理事長 <p>【理事会】 4か月に1回 【担当理事ミーティング】 随時</p>
4月	22(土) アーモンドこども食堂 30(日) 青少年キャリア支援カウンセリング (千葉政広カウンセラー・理事が担当)	13(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修		
5月	28日(土) アーモンドこども食堂 3(水) アート事業アートワークショップ 28(日) 青少年キャリア支援カウンセリング	11(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修	24(水)横浜市北部地域若者支援連絡会	19(金) 後見的支援室職員傾聴研修
6月	17(土) 法人「第五期通常総会」開催 25(日) 青少年キャリア支援カウンセリング	8(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修	5(月) つづき MY プラザ共催事業:「思春期セミナー」 (認定 NPO コロンブスアカデミー、認定 NPO アットホームと共催)	20(金) 孝道山主催:「伝わるコミュニケーション研修～「傾聴」力を軸に支援を続けるコミュニティを創る」講演会 26(月) 都筑区役所主催: 民生委員・児童委員協議会全体研修会 ‘傾聴～より良いコミュニケーションのために’

7月	22(土) アーモンドこども食堂 25(火) アーモンドの会(コラージュ) 25(火) 27(木) 希望食堂 29(土) 青少年キャリアカ支援ウンセリング	13(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修	5(水) 横浜市北部地域若者支援連絡会 24(月)協力事業:デンマーク「エグモント・ホイスコーレンドキュメンタリー「リース遠征隊」上映会&トークセッション(横浜市健康福祉総合センター)	6(木) フレンドリースペース金沢 主催:「フリースペース支援者「傾聴」研修」 15(土) 東山田中学校区学校支援地域本部主催:「学校・学習支援ボランティア講座「こどもの学びに寄り添う傾聴と学習支援」 28(金)後見的支援室職員傾聴研修
8月	1(火) 3(木) 8(火) 17(木) 22(火) 24(木) 希望食堂 14(月)Yokohama Youth Photo Project 写真展示 26(土) アーモンドこども食堂 27(日) 青少年キャリア支援カウンセリング			9(水) 都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)、都筑区役所主催: 講演会「グローバル人材と人間力～通訳ボランティアを目指して～日本文化をどのように外国人に伝えるか」(エスキルドセン ロバート副理事長)
9月	2(土) アーモンドこども食堂 14(木) 20(水) 27(水)希望食堂 5(火) アーモンドの会(コラージュ) 9(土) クレディ・スイス証券(株) パソコン設置 14(木) 神奈川新聞社より取材 23(土) 土曜学習会 24(日) コミュニティーデザインラボより取材 24(日) 青少年キャリア支援カウンセリング 29(金) アート事業練習:影絵劇・読み聞かせ	14(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修	* アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト、アート事業 講師:牧田あゆみ会員 16(土)、18(月)アート事業 展覧会、アートワークショップ(青葉区赤い家) 20(水) 都筑区社会福祉協議会団体交流会 30(土)アート事業(横浜市歴史博物館講堂)アニメーション上映会、(〃 研修室)アートワークショップ	1(金) つづきの丘小学校コミュニティハウス主催:子育て支援者・介護支援者のための「傾聴勉強会」講師
10月	4(水) 10(火) 18(水) 25(水) 希望食堂 6(金) 中高生対象「アートワークショップ」 7(土) アニメーション上映会、ArtistBook制作 アートワークショップ(アーモンドホープセンター会場) 7(土) YOU&Iコンサート 会場:都筑公会堂 22(日) 青少年キャリア支援カウンセリング 14(土) アーモンドこども食堂	12(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修	1(日) アート事業(横浜市歴史博物館図書閲覧室)影絵劇、民話よみきかせ、紙芝居上演 28(土)アート事業(なごみ邸)アニメーション上映会、スカイプでイタリアと横浜を繋いだアート交流会	25(水) 「e-learning アワード 2017」主催: 「子どもの貧困対策の現場から～困難を抱える小中高生への ICT 活用の必要性～」登壇発表 27(金) 横浜市・神奈川県共催事業パネリスト 「広がれ、子ども食堂の輪！」登壇発表 28(土) ヨコハマアートサイトと共催: 「アトラウンジ」講演会「民と俗に挟まれて」 (エスキルドセン ロバート副理事長)

<p>11月</p>	<p>1(水) 7(火) 15(水) 24(金) 28(火) 希望食堂 11(土) アーモンドこども食堂 26(日) 青少年キャリア支援カウンセリング</p>		<p>21(火) 山田地区社協ボランティア 部会交流会</p>	<p>6(月) つづきの丘小学校コミュニティハウス 主催:子育て支援者・介護支援者のための 「傾聴勉強会」講師</p>
<p>12月</p>	<p>6(水) 13(水) 20(水) 希望食堂 9(土) アーモンドこども食堂 24(日) 青少年キャリア支援カウンセリング</p>	<p>14(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修 23(金) 共催事業:「多文化カウンセリング セミナー」講演会(水谷維麻会員)</p>	<p>9(土) 横浜労働者福祉協議会 会議</p>	<p>6(水) 港福城プロジェクト主催:「はしからはしま で放課後トーク」ファシリテーター担当 (港北公会堂ホール)</p>
<p>1月</p>	<p>11(土) アーモンドこども食堂 18(木) 一人子育てフォーラム来所 「子どもの貧困問題学習会」 30(火) ヨコハマユース来所 24(水) 31(水) 希望食堂 28(日) 青少年キャリア支援カウンセリング</p>	<p>11(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修</p>		
<p>2月</p>	<p>3(土) アーモンドこども食堂 7(水) 都筑リビングラボ ミーティング 7(水) 14(水) 21(水) 28(水) 希望食堂 10(土) 土曜学習会 22(木) クレディ・スイス証券(株)より CEO、職員が来所 25(日) 青少年キャリア支援カウンセリング 26(月) ヨコハマアートサイトのインタビュー</p>	<p>8(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修 24(土) 共催事業:「第6回障がいと傾聴セ ミナー」講演会(笠羽美穂会員)</p>	<p>21(水) 都筑区役所生活支援課 「困窮者自立支援」会議</p>	<p>10(土) 高田地区子ども居場所作り実行委員 会主催(高田地域ケアプラザ、港北区社会福 祉協議会、港北区役所協力)「子どもたちが未 来に希望を持てる地域づくり」活動発表 20(火) 横浜市教育委員会委託・中川中学校 区親の学び・家庭教育学級:「揺れ動く思春期 のこころを聴く～傾聴セミナー」</p>
<p>3月</p>	<p>6(火) 横浜市こども青少年局 来所 7(水) 都筑リビングラボ ミーティング 7(水) 14(水) 28(水) 希望食堂 17(土) アーモンドこども食堂 25(日) 青少年キャリア支援カウンセリング</p>	<p>8(木) 中川地域ケアプラザ「You & Me」 傾聴研修</p>	<p>7(水) 横浜市北部地域若者支援 連絡会 10(土) 横浜市主催:「ヨコハマ子 どもの育ちを支える連携を考える 100人会議」 17(土) ヨコハマアートサイト 2017 報告会</p>	<p>16(金) 「横浜リビングラボ 創生会議 2018」 「官と民の協働によるリビングラボの立ち上げ・ 運営にむけた取り組み」都筑リビングラボ」発表 22(木) 横浜市育成センター主催:「青少年を 支える人材養成研修—青少年と地域・支援機 関をつなぐユースコーディネーターを目指して —「傾聴によるこころの支援」講演</p>